

世界平和祈願

綾の聖地エルサレム大本歌祭

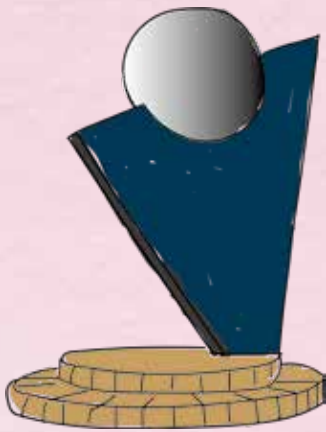
令和7年10月12日（日）午後5時30分

京都府綾部市梅松苑・綾機平

あやはたいら

平和な世界の実現を目指した大本教祖・出口王仁三郎は、
でぐちおにさぶろう
1925年綾部で「人類愛善会」を創設。諸宗教間の
協力推進、世界連邦運動、国際共通語エスペラントの普及
などに国内外で取り組んできました。
2025年は同会の創立100周年に当たり、この節目
おおもとうたまつり
を記念して、10月12日、綾の聖地エルサレム大本歌祭を
執行いたします。





平和のモニュメント（綾部駅前）

平和のまち・綾部から世界へ

1950（昭和25）年10月14日、綾部市は日本全国に先駆けて世界連邦都市宣言を行い、2025年には満75年の節目を迎えます。しかし世界に目を向けると、紛争はいまだ絶えず、平和とはほど遠い悲惨な状況が渦巻いています。私たちは今こそ「平和のまち・綾部」に集い、国や民族、言語、宗派の壁を超えた歌祭を行い、心一つに世界平和を祈願するときではないでしょうか。

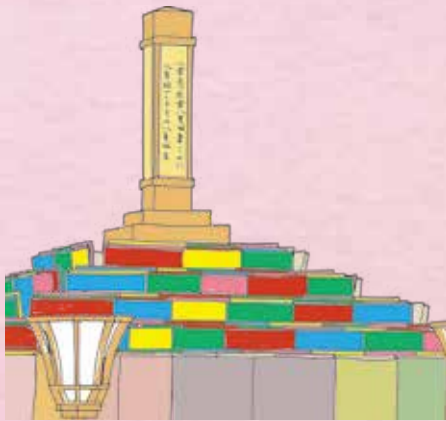
平和への希望と祈りを共に

はらい清めの神事・大本歌祭

「歌祭」とは元来、日本の上代から伝わってきた神事であり、芸能でもありました。私たちの祖先は願いや感謝の心を短歌に詠んで供え、日々の暮らしで募ったわだかまりやもめ事をはらい清める行事でした。鎌倉時代に入りその風習は徐々にすたれてしまいましたが、1935（昭和10）年に出口王仁三郎が復興。以来「大本歌祭」として現在に受け継いできました。



舞姫による「須賀の宮の舞」（大本歌祭）



歌垣（大本歌祭）

大本歌祭では舞台の中央に「歌垣」が据えられます。歌垣の上には色とりどりの色紙がめぐらされ、中央には素盞鳴尊が日本で初めて詠まれたという和歌「八雲神歌」の短冊を掲げ、これをご神体と仰ぎます。色紙には「献詠歌」が筆で清書されており、世界平和の祈りや神さまへの感謝などが込められた真心から成る短歌が一人一首ずつお供えされ、祭典ではその中から選ばれた数十首を詠い上げ、舞姫が潔斎の舞をみやびやかに舞い納めます。

大本歌祭の目的は、美しく清らかな歌の言霊をもって神さまのみ心を和めるとともに人々の心をも和め、人間社会のさまざまな障壁や感情的なもつれなど、はらい清める大変重要な神事です。毎年8月に亀岡にある大本の聖地・天恩郷で行われているほか、特に五代教主・出口紅の就任以降は全国各所の大本ゆかりの地、また遠くは南米・ブラジルでも執行してきました。近年では住吉大社（大阪）の吉祥殿、橿原神宮（奈良）の土間殿、高砂神社（兵庫）の神遊殿、出雲大社（島根）の神楽殿でも執り行いました。



地図

京都府綾部市上野町上野

【お問い合わせ】 人類愛善会総本部事務局
〒621-0815 京都府亀岡市荒塚町内丸1 大本本部内
TEL：0771-56-9073 FAX：0771-22-9949
メール：mail@jinruiaizenkai.jp

